

福島第一原子力発電所における
雨水処理設備（淡水化处理RO膜装置）
配管からの水の漏えいについて

2015年6月22日
東京電力株式会社



東京電力

概要

■発生日時：2015年6月20日 午前 9時30分頃

■場 所：Cタンクエリア淡水化处理RO膜装置内

■概況

9:00 頃 淡水化处理RO膜装置を起動後、機器異常を知らせる警報『RO処理水圧力高』が発生、速やかに装置を停止。

9:30 頃 現場確認により、同装置の配管取り合い部から当該箇所直下に設置されている受け皿（鉄製）内に漏えいしていたことを確認。

（当該装置B系を起動したところ、同装置A系の配管取り合い部から漏えい。）

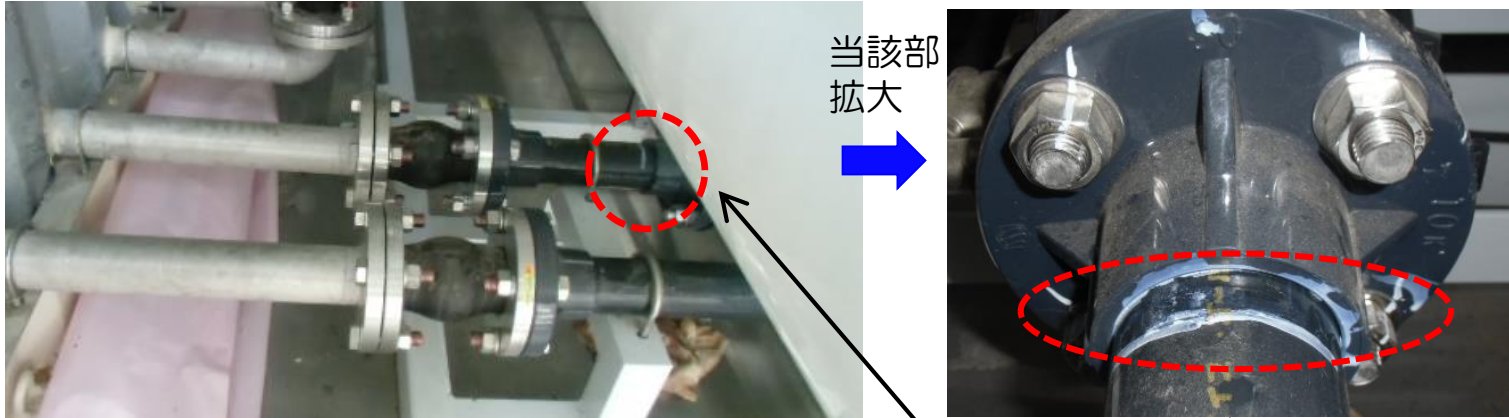
- 装置停止により当該部からの漏えいは停止。
- 漏えいした水は、受け皿（鉄製）内に留まっており、装置外への漏えいはなし。〔外部への影響なし。〕
- 漏えい量は約20ℓで回収済み。

■漏えい水の性状：処理前の水の分析結果〔6/19採取分〕

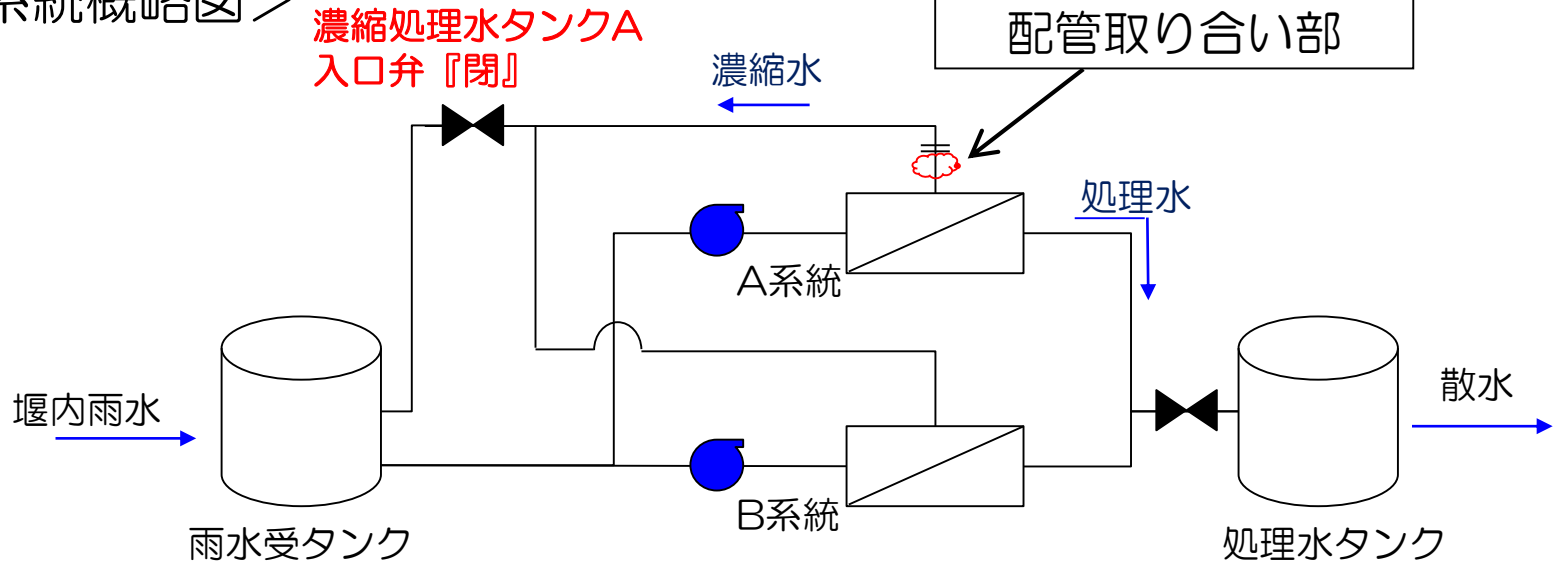
- セシウム134：検出限界値未満（検出限界値：10 Bq/L）
- セシウム137：検出限界値未満（検出限界値：17 Bq/L）
- 全ベータ：24,000 Bq/L

現場状況

<現場状況写真>



<系統概略図>



原因と対策

■ 原因（推定）

- 当該装置から水を移送する際に、本来開いているはずの濃縮処理水タンク A 入口弁（A・B系共通の弁）が閉まっていたため、締め切り運転状態となり、系統内の圧力が上昇し、漏えいに至ったものと推定。
- 今後、詳細な調査を実施。

■ 対策

- 検討中

以 上